

みのかも定住自立圏 第4次共生ビジョン(案)

令和8年度-令和12年度



美濃加茂市 坂祝町 富加町 川辺町 七宗町
八百津町 白川町 東白川村

令和8年4月1日 公表

空欄

目次

	ページ
第1章 策定の趣旨	2
策定にあたって	3
第4次共生ビジョンの期間	3
第2章 圏域の概要	4
定住自立圏の名称	5
圏域を構成する市町村	5
圏域を構成する市町村の特徴	6
圏域の現状を示すデータ	14
みのかも定住自立圏の変遷	18
第3章 第4次共生ビジョンの方向性	20
将来像	21
将来における人口ビジョン	22
事業推進に係る3つの視点	23
圏域の課題とその関連データ	24
第4章 将来像実現に向けた具体的な取組	27
将来像実現に向けた具体的な取組の総括表	28
具体的な取組内容	30
第5章 みのかも定住自立圏の経過	41

第 1 章

策定の趣旨

■策定にあたって

【みのかも定住自立圏の形成について】

美濃加茂市と加茂郡（坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村）は、古くから人や物の交流が盛んで、生活圏や文化圏、豊かな自然を分かち合いながら、強い結びつきを築いてきました。この地域を一つの「圏域」としてとらえ、お互いに連携、協力することで、それぞれの町村がもつ「強み」を活かし、「弱み」を補い合いながら、圏域全体を活性化させ、人口定住を図るため、みのかも定住自立圏を形成しています。

【みのかも定住自立圏第4次共生ビジョンの策定について】

共生ビジョンとは、中・長期的な視点から、みのかも定住自立圏がめざす将来像を定めるとともに、その実現のために必要な具体的取組を示すものです。

みのかも定住自立圏では、平成22年にみのかも定住自立圏（第1次）共生ビジョンを策定し、社会情勢の変化や地域課題に対応するため、みのかも定住自立圏第3次共生ビジョンまで、毎年度計画を見直ししながら、取組を推進してきました。

その間、人口減少、少子高齢化の加速、自然災害の増加など、地域社会が抱える課題は複雑化、多様化しており、一つの自治体だけで対応、解決していくことは、これからますます難しくなることが予想されます。圏域全体のさらなる活性化を図り、将来像実現に向けた取組を推進していくため、「みのかも定住自立圏第4次共生ビジョン」を策定します。

■第4次共生ビジョンの期間

このビジョンの期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

第 2 章

圏域の概要

■定住自立圏の名称

みのかも定住自立圏

■圏域を構成する市町村

美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町
八百津町、白川町、東白川村



■圏域を構成する市町村の特徴

【美濃加茂市(中心市)】



人口 56,689人（令和2年国勢調査）

面積 74.81km²

【市の特徴】

美濃加茂市は岐阜県中南部に位置し、自然と歴史が調和した地域です。北部は飛騨地方につながる山々に囲まれ、ホタルの乱舞や田園風景など、四季折々の自然を見ることができます。南部にはなだらかで肥沃な土地が広がり、中部の丘陵地では梨や柿をはじめとする果物栽培が盛んです。特に約1000年の歴史を持つ「堂上蜂屋柿」は、その歴史的価値と品質から、国内外で高い評価を受けています。

また、工作機械、食品、電子部品などの大型工場が集積し、岐阜県内でも上位の製造品出荷額を誇ります。江戸時代には、中山道51番目の宿場町「太田宿」として栄え、その面影を感じる町並みが残っています。東海環状自動車道、国道21号・41号、JR高山本線、太多線、長良川鉄道などが通り、人々が行き交う交通の拠点になっています。

【観光スポット】

中山道太田宿、リバーポートパーク美濃加茂、ぎふ清流里山公園、古井の天狗山
ヤマザキマザック工作機械博物館

【特産品】

堂上蜂屋柿、山之上の梨、御代櫻（日本酒）

【催し】

おん祭MINOKAMO、みのかも市民まつり、みのかもハーフマラソン大会

【産業】

製造業（生産用機械器具、鉄鋼業、食料品）



リバーポートパーク美濃加茂



堂上蜂屋柿

【坂祝町】



人口 8,071人（令和2年国勢調査）

面積 12.87km²

【町の特徴】

坂祝町は、加茂郡の西南、岐阜県の中南部に位置し、中央部を郷部山丘陵が占め、それを取り囲むように平野部が広がっています。交通では、町の南部を県道207号とJR高山本線が木曽川に沿って東西を貫いています。

各務原市から国道21号が通り、北部の国道248号につながっています。西部には県道346号、県道367号が通っています。本町の中央南部は、JR高山本線坂祝駅周辺になり、町役場などが立地しています。東部は、工場が複数立地し工業地域となっています。北部は、平坦地に農地が広がっています。西部は、本町のシンボルである猿ばみ城跡を有する森林地域となっており、麓には農地や住宅地が広がっています。南部を流れる名勝木曽川は、飛騨木曽川国定公園に指定され、「日本ライン」と呼ばれています。

【観光スポット】

猿ばみ城展望台、日本ラインロマンチック街道&行幸公園、八幡池、木曽川の森散策路

【特産品】

トマト、日本瓦、入浴剤

【催し】

さかほぎ町民まつり

【産業】

製造業（輸送用機械、一般機械）



猿ばみ城・木曽川



八幡池

【富加町】



人口 5,626人（令和2年国勢調査）

面積 16.82km²

【町の特徴】

富加町は、美濃加茂市の西に隣接し、田園風景が広がる豊かな自然と歴史が息づくまちです。面積約16km²の小さな町ながら、津保川・川浦川の清流や緑あふれる里山に囲まれ、貴重な古墳や城などの歴史資源が残され文化的な魅力も豊富です。古くは農業の町でしたが、近年は製造業を中心とした産業も根づいており地域経済を支えています。地元産のいちご・かぼちゃ・黒米を使って町の顔となるような特産品開発を進めています。アクセスには、東海環状自動車道・国道418号・長良川鉄道があり、近隣市町への通勤にも便利な立地で近年では人口の緩やかな増加がみられます。「仕事」にも「子育て」にも「田舎暮らし」にもちょうどいいことから「JUSTomika Life」をキャッチフレーズに、安心して暮らせるまちづくりや子育て支援に力を入れています。

【観光スポット】

道の駅「半布里の郷とみか」、国史跡「夕田墳墓群」、白華山清水寺
松井屋酒造場資料館、富加町郷土資料館

【特産品】

黒米、いちご、かぼちゃ

【催し】

富加町民まつり、トミカ駅前夏まつり

【産業】

製造業（金属製品・生産用機械器具）、農業



富加町全景(羽生滝田)



道の駅「半布里の郷とみか」

【川辺町】

人口 9,860人（令和2年国勢調査）

面積 41.16km²**【町の特徴】**

川辺町は町域の約7割を山林が占め、中央を飛騨川が南北に流れる「山と川の町」です。ダム湖周辺の整備により、散策道や公園では多くの人々が余暇を楽しんでいます。ダム湖はボート競技に適した自然条件を備え、全国の愛好家に知られています。町内には由緒ある神社や古代文化を伝える史跡も多く、これらと地域・川を有機的に結び、来訪者が一日楽しめる場の提供を目指しています。近年人気の低山登山も取り入れ、自然と文化を満喫できる観光を推進しています。

【観光スポット】

遠見山（岐阜のグランドキャニオン）、米田富士、八坂山
岐阜県川辺漕艇場、川辺湖岸遊歩道

【特産品】

地酒(みりん)・いちご・ぶんたこ(草餅)

【催し】

FUMOTO・川辺おどり花火大会・かわべ清流レガッタ

【産業】

製紙業・中小製造業・農業



遠見山



川辺漕艇場

【七宗町】



人口 3,402人（令和2年国勢調査）

面積 90.47km²

【町の特徴】

七宗町は岐阜県の中南部に位置し、町域の約91%を山林が占め、平地は極めて少なく、町内を流れる飛騨川・神湫川及びこれらの支流の渓谷沿いに農地や宅地が点在する状況となっています。飛騨川の河床からは20億年前の上麻生礫岩が発見され、岩盤を含んだ土地であることから地盤が強いといった特徴があります。また、製造業において最微細切削加工を得意とする企業が七宗工場から国内外へ輸出し、世界の半導体製品生産を支える事業者も活躍しています。神湫神社には、国指定天然記念物の樹齢850年以上の大杉があり、御神木の名にふさわしい立派な姿は見物であります。創業90年余りの歴史がある七宗町のお菓子である有平巻は、町内の職人さんによって一つ一つ手作りされたくせになる触感や味わいを楽しむことができます。

【観光スポット】

神湫神社、納古山、飛水峡、空ふさがり

【特産品】

有平巻、朴葉寿司、天然鮎

【催し】

祭場（夏）、ふる里まつり（秋）

【産業】

製材業、建設業

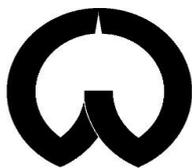


有平巻



空ふさがり

【八百津町】



人口 10,195人（令和2年国勢調査）

面積 128.79km²

【町の特徴】

八百津町は、岐阜県の東南部に位置し、北に飛騨川、南に木曾川が流れています。西部は海拔120m前後の海岸段丘上に農用地、東部は森林がほとんどを占め海拔500mから600mの高原といった清流と豊かな自然が広がり、国道418号沿いを中心に商業・住宅地、山間部の集落、工業団地が形成されてきました。縄文時代の遺跡・土器が発見された他、中世、近世の貴重な仏像等が現存しており、また、江戸時代には木曾川の要衝として錦織材木奉行所が設置され、舟運により栄えた歴史を有しています。蘇水峡や五宝滝、八百津せんべいや栗きんとん、人道の丘「杉原千畝記念館」、八百津だんじり祭り、久田見糸切りからくり祭りなどの特色のある自然・製造・歴史的、文化的施設など豊富な観光資源を有しています。

【観光スポット】

杉原千畝記念館、ハヤブサ・ミュージアム、岐阜バンジー、五宝滝、めい想の森

【特産品】

八百津せんべい、栗きんとん、地酒

【催し】

蘇水峡川まつり花火大会、八百津町産業文化祭、やおつストリートフェスティバル

【産業】

卸売・小売・飲食・宿泊業、製造業、建設業



杉原千畝記念館



五宝滝

【白川町】



人口 7,412人（令和2年国勢調査）

面積 237.9km²

【町の特徴】

白川町は、県中南部の加茂郡北端に位置し、町域の約9割が森林に覆われる自然豊かな山間の町です。特に東濃ヒノキの産地として全国的に高い評価を受けており、林業が町の重要な産業となっています。飛騨川や白川の清流ではアユ釣りや川遊びが楽しめ、四季折々の美しい風景が広がります。農業も盛んで、お茶やシイタケ、夏秋トマトなどが特産品として知られ、近年では有機農業も進んでいます。文化面では、白川町町民会館には本格的なパイプオルガンが設置され、演奏会も開かれるなど音楽文化の発信拠点となっています。歴史ある祭りや地域行事も多く、伝統を大切にしながら、近年は移住・定住促進に力を入れています。地域住民と移住者が共に支え合う温かい暮らしが根付いています。JR高山本線の駅が2つ、国道41号も通り、名古屋方面へのアクセスも良好です。

【観光スポット】

白川の清流（白川・飛騨川）、パイプオルガン（白川町町民会館）、道の駅 美濃白川 ピアチェーレ、水戸野シダレザクラ、東座（あずまざ）

【特産品】

東濃ひのき、美濃白川茶、シイタケ、夏秋トマト

【催し】

美濃白川ふるさとまつり、水戸野しだれ桜ライトアップ、地歌舞伎公演（黒川・佐見）

【産業】

農林業



白川の清流(白川・飛騨川)



パイプオルガン

【東白川村】



人口 2,016人（令和2年国勢調査）

面積 87.09km²

【村の特徴】

東白川村は岐阜県の東部に位置する、人口2,000人余りの小さな村です。美濃加茂市から北東に45km離れており、車で60分程度で移動できます。総面積の90パーセントを山林が占め、澄んだ空気や清流「白川」に流れる水など自然資源に恵まれたこの土地で育った美濃白川茶や夏秋トマト、東濃ひのきなどが特産品です。

明治初年、新政府による神仏分離令に端を発した廃仏毀釈の影響により、仏教建造物のほとんどが破壊されました。以降、再建されなかったために全国でも珍しい「お寺のない村」という歴史を持ち、毎年供養祭も執り行われます。

また、幻の生物「つちのこ」の目撃情報多発地域として、毎年5月3日に大捜索イベント「つちのこフェスタ」が開催され、多くのお客様をお迎えして盛り上がっています。

【観光スポット】

つちのこ館・道の駅「茶の里東白川」・四つ割の南無阿弥陀仏碑

【特産品】

東濃ひのき・美濃白川茶・夏秋トマト

【催し】

つちのこフェスタ・秋フェスタ・お松さま祭り

【産業】

林業・農業（茶・トマト）・畜産



つちのこフェスタ



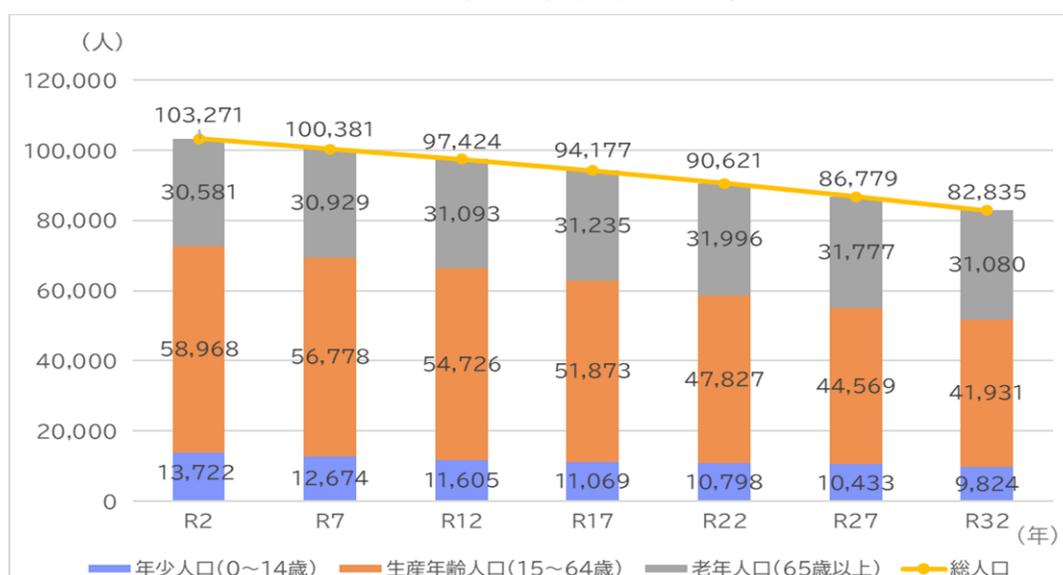
清流白川の紅葉

■圏域の現状を示すデータ

【人口の推移と将来推計人口の推移】

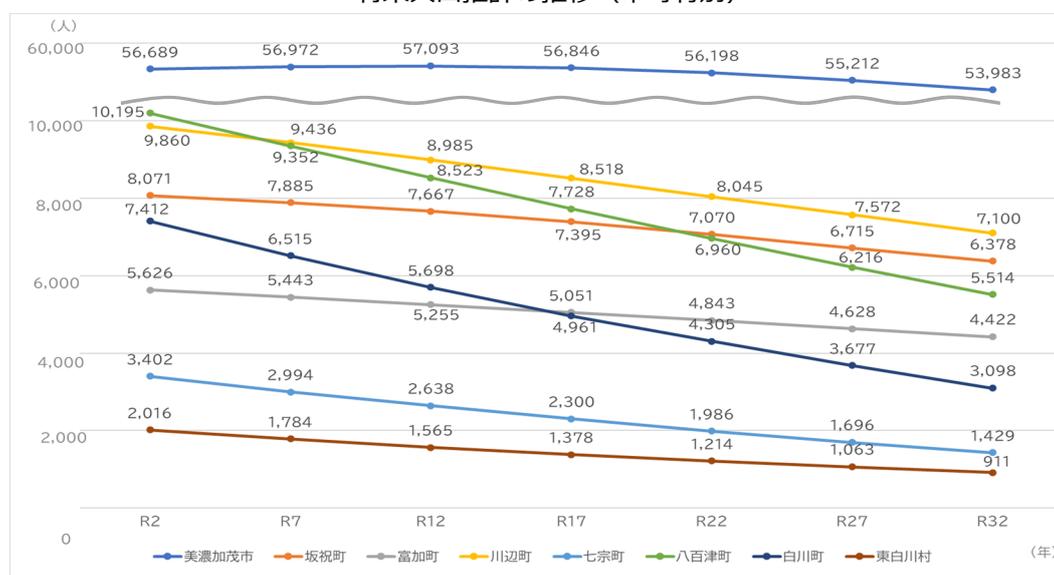
令和2年（第3次共生ビジョン策定時）の圏域の人口は約10万3千人でした。令和2年国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計によると、令和32年（2050年）には約8万2千人にまで減少すると想定されています。さらに、圏域の将来人口推計の内訳をみると、すべての市町村で人口減少が見込まれています。

将来人口推計の推移（圏域全体）



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」

将来人口推計の推移（市町村別）

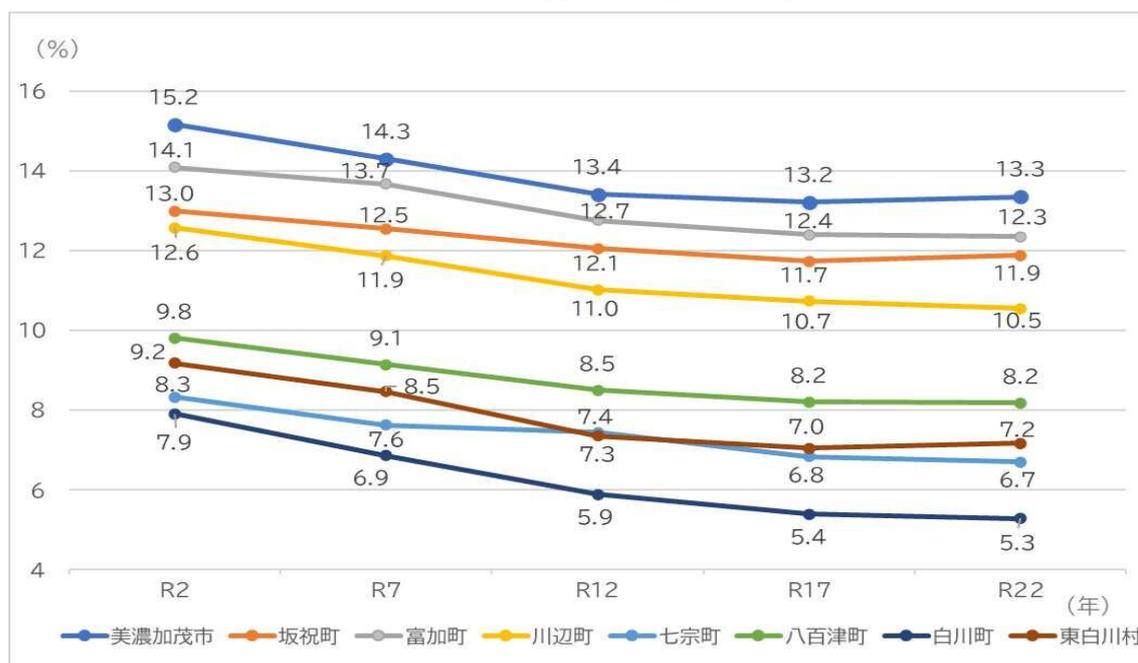


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」

年齢3区分別将来推計人口（割合）の推移をみると、年少人口（0歳～14歳）及び生産年齢人口（15歳～64歳）の割合は減少傾向にある一方、老年人口（65歳以上）の割合は増加しています。

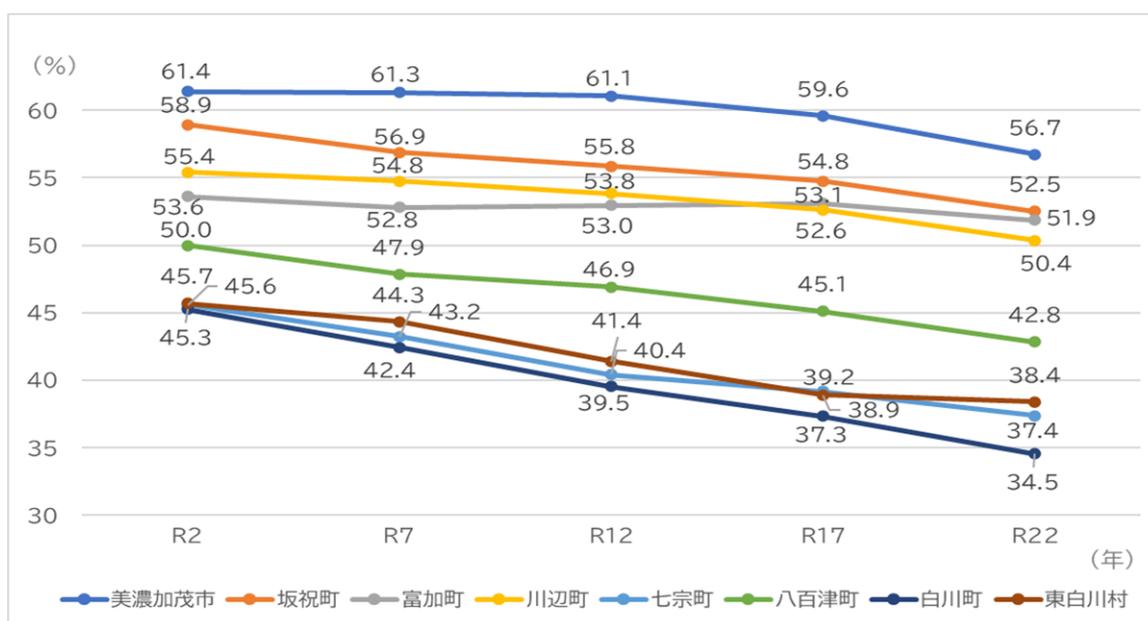
年齢3区分別将来人口推計（割合）の推移

0歳～14歳将来推計人口（割合）の推移



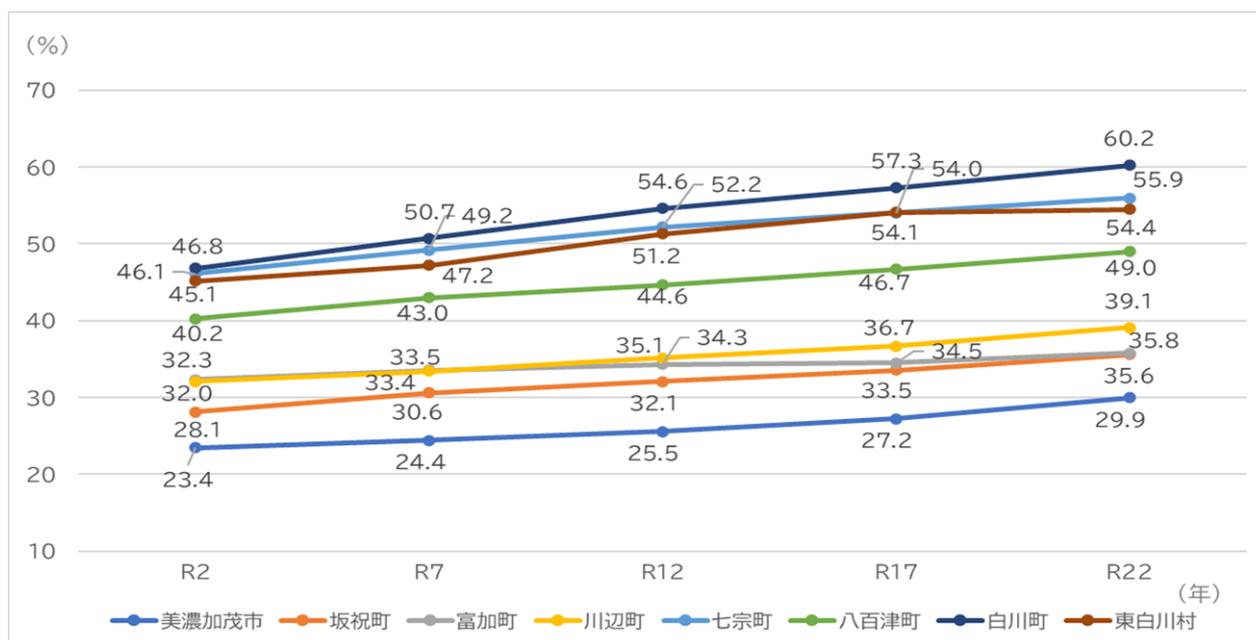
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」

15歳～64歳将来推計人口（割合）の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」

65歳以上将来人口推計（割合）の推移

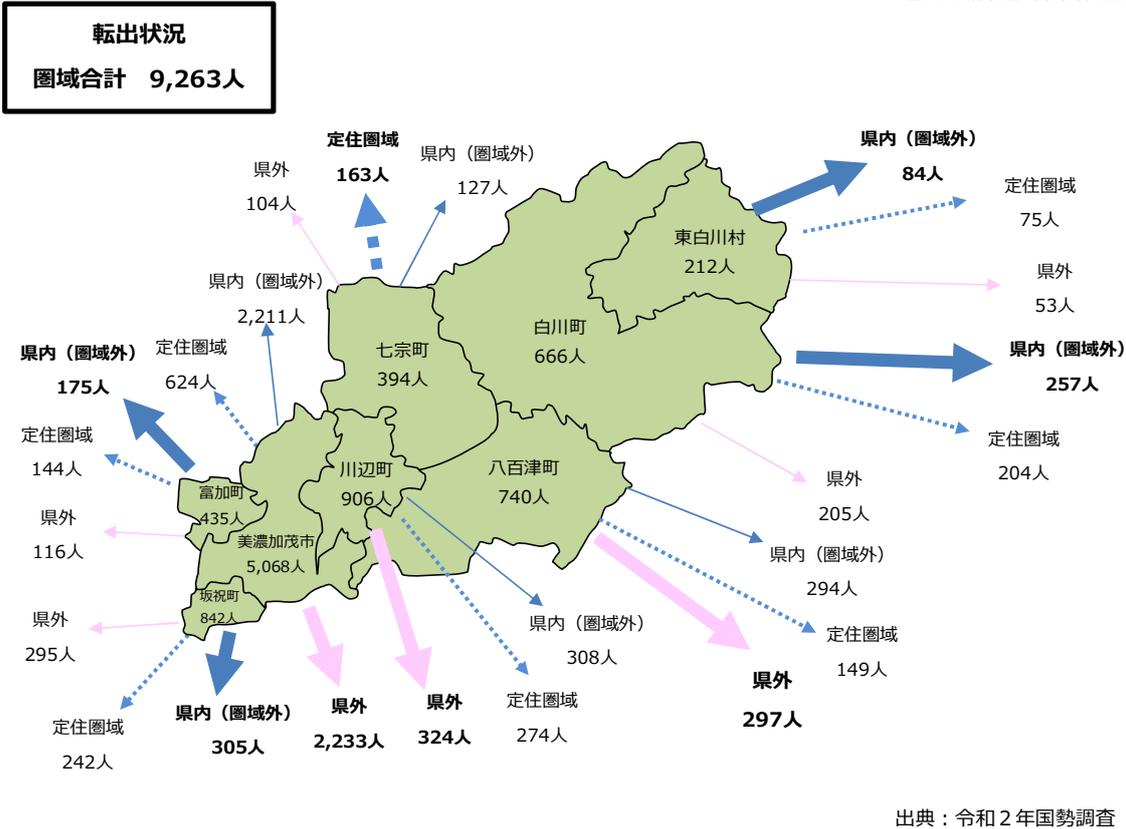
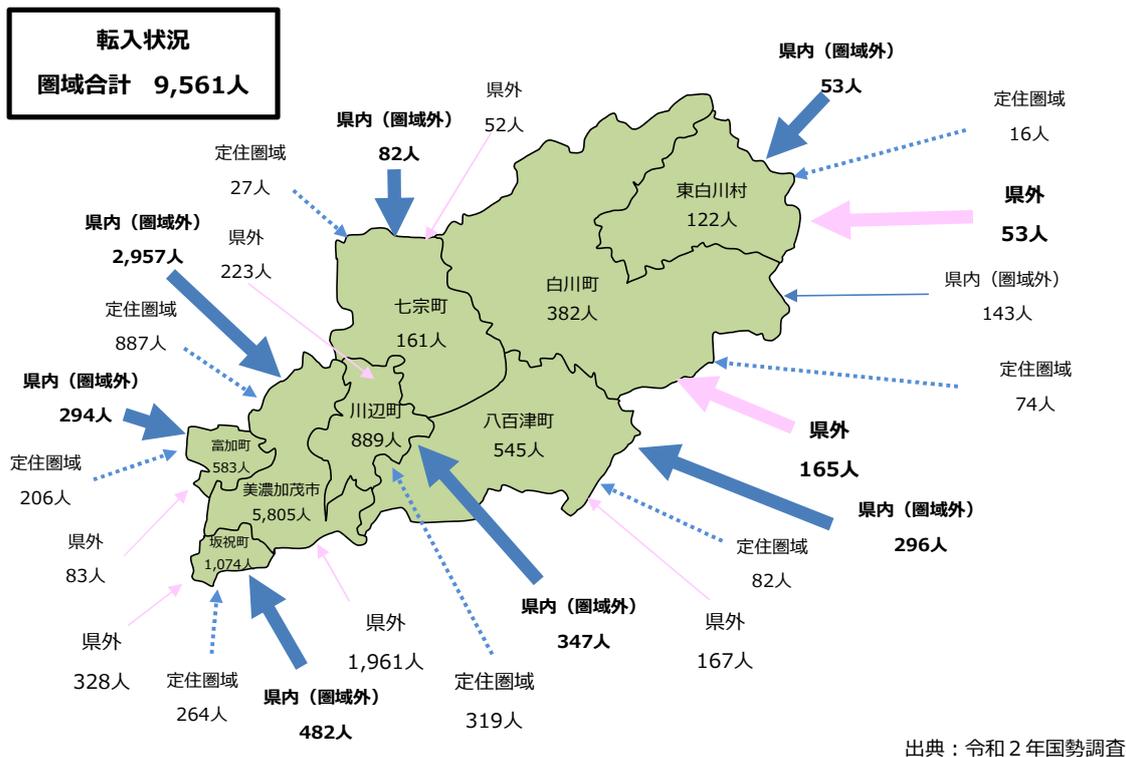


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」

【転入転出状況】

圏域全体としては転入超過になっていますが、各市町村で見ると、美濃加茂市、坂祝町、富加町は転入超過、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村は転出超過になっています。

転入転出状況



■みのかも定住自立圏の変遷

第1次

共生ビジョン

平成22年
～平成26年

第1次共生ビジョンでは、定住自立圏構想への参加を求める加茂郡町村と順次協定を締結し、平成23年12月には、1市7町村でみのかも定住自立圏を形成しました。次の基本姿勢を基に、圏域の連携による効率化（主に行政事務）や効果が高まる事業を展開しました。

基本姿勢1 民間の意欲と発想を引き出し、新たな事業モデルを創造します

基本姿勢2 時代の変化をとらえた新しい公共のあり方を示します

基本姿勢3 目的や期待される効果を明確にした分かりやすい計画とします

効果

- ①行政事務の効率化につながった
- ②行政界を越えた住民の交流が生まれた

課題

- ①広域行政的な事業が増加し、地域差のある課題解決への町村の独自性が低下
- ②単なる財源として既存事業への充当
- ③自治体の距離等による構成町村による取組への温度差
- ④事業への公平配分が困難
- ⑤中心市の事業に対する負担の増大

第2次

共生ビジョン

平成27年
～令和2年

第1次の課題を受けて第2次では・・・

次の4つを重視し、基本方針を「都市圏とのつながり」「新しい公共」「市町村提案事業」と定めて事業を展開しました。

【個】中心市と連携町村の1対1協定を重視

【色】特色・個性のある取組を生み地域の強みをいかす

【創】新たにチャレンジする事業を創造する

【集】人口定着と都市圏から人口流入を目指す

※名古屋圏でのイメージ「地域イメージの認知度が低い」

「知名度の高いイベントが少ない」⇒ 圏域の課題

基本方針1 「都市圏とのつながり」により、新たな交流をつくり、定住人口増加へつなげます

基本方針2 民間の力による「新しい公共」を実現し、いきいきと暮らせる地域を創造します

基本方針3 中心市をはじめ近隣町村からの提案事業に取り組みます

効果

- ①各市町村が特色ある事業に取り組むことで都市圏住民との交流人口を生み出せている
- ②各町村が主体的に事業に取り組めている
- ③事業によっては、共通課題を抱える市町村の効率的な連携ができた
- ④圏域外への波及を生み出した事業も見られる

課題

- ①連携市町村で取り組む事業に対する温度差が生じている
- ②交流人口の増加を定住人口につなげていく事業への成長が見えていない
- ③イベント事業が多く、外向きへの発信が主となり、圏域住民の関わりや認知度が低い
- ④民間主体で取り組む事業が、補助終了後に継続していけるか目途が立っていない

第2次の課題を受けて第3次では・・・

第3次

共生ビジョン

令和3年
～令和7年

第3次共生ビジョンでは、今後の圏域を支える足腰となる土台部分の構築を重点的に取り組みました。この土台づくりにおいては、重要な視点として5つの重点分野を設定し、それぞれの分野に具体的なテーマを掲げることで、事業を展開しました。

また、第1次および第2次共生ビジョンで実施してきた事業の効果検証を行うことで、その成果をふまえて内容の見直しを行い、第3次共生ビジョンで描く将来像の実現に向けて事業を推進しました。

【5つの重点分野】

第3次共生ビジョンでは、次の5つを重点分野に設定しました。

【健康】 圏域住民の心と体の健康

【未来のヒトづくり】 今後の圏域を担う未来のヒトづくり

【公共交通】 住民が生活するために必要な移動手段

【防災】 いつ発生してもおかしくない大規模自然災害への対応

【外国人定住】 圏域経済の活性化に働き手として必要不可欠な外国人住民

効果

- ①足腰となる土台作りを実施し、今後の取組を支える基盤が構築された
- ②圏域職員同士の交流が深まり、地域間の連携が強化された

課題

- ①圏域内で共有すべき課題に対して認識の統一が十分に図られていない
- ②移住定住、人口減少対策に関する具体的な取り組みが不足している

第4次

共生ビジョン

令和8年
～令和12年

第4次共生ビジョンでは、これまでに築いてきた土台を基礎に、より充実した事業を展開することで、住民一人ひとりが「住み続けたい、住んでみたい」と思えるまちの実現をめざします。将来生じる変化や課題などにも対応し、持続可能なまちづくりを推進するため、事業推進に係る3つの視点として「未来を担う人材の育成」「デジタル技術の活用」「資源の共同活用」を設定し、事業を推進していきます。将来像の実現にむけて、毎年度事業内容を見直し、改善することで、圏域の課題に柔軟に対応し、より効果的な取組を推進していきます。

第 3 章

第4次共生ビジョンの方向性

■将来像

住み続けたい、住んでみたいまち

将来、みのかも定住自立圏では、

○美濃加茂市と加茂郡町村のそれぞれがもつ「人」、「産業」、「文化」、「歴史」、「自然」など、ここにしかないさまざまな資源を守り、育み、それらを織りなすことで、圏域の魅力がさらに向上しています。

○若者たちがここで暮らし、夢や希望を叶え、地域に根を下ろして、そして地域の担い手として活躍しています。

○ヒト、モノ、サービスを圏域内で循環させることにより、経済的に自立した力強い地域、圏域が形成されています。

○多様性を尊重し、一人ひとりがお互いを理解し、認め合うことができる社会になっています。

みのかも定住自立圏の圏域を構成する市町村がそれぞれの役割を担い、「未来を担う人材の育成」、「デジタル技術の活用」、「資源の共同活用」を通じて、上記の4つを実現することで、「住み続けたい、住んでみたいまち」と思える圏域をつくっていきます。

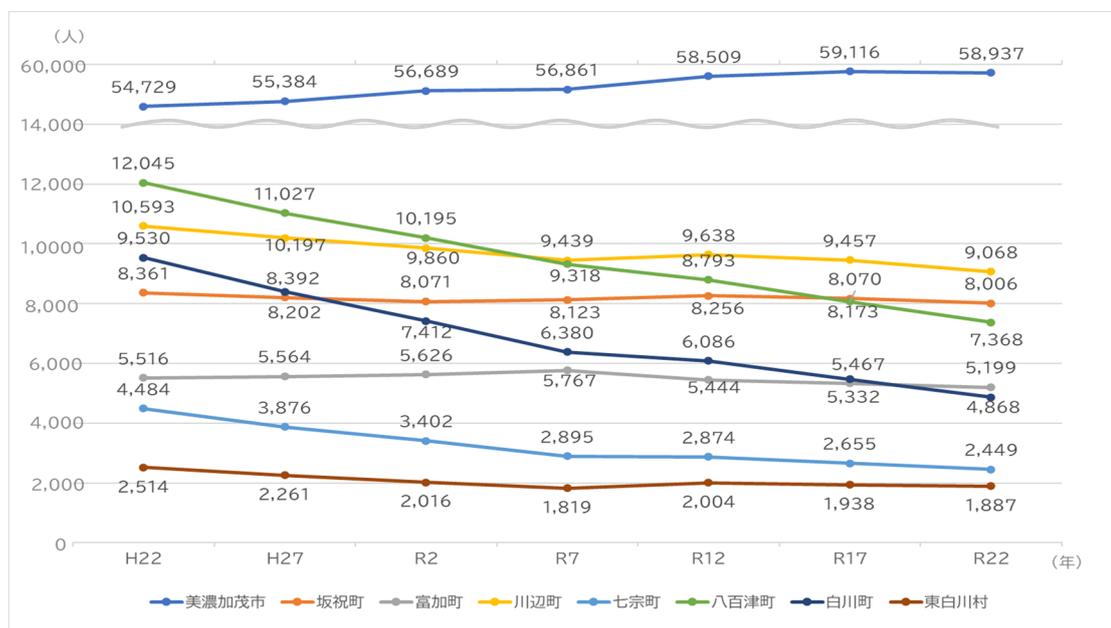
■将来における人口ビジョン

みのかも定住自立圏では、圏域全体で、「住み続けたい、住んでみたいまち」の実現に向けて、第4次共生ビジョンに位置づける事業を推進するとともに、各市町村がそれぞれの特色を活かし必要に応じた事業を実施することで、人口流出の抑制や流入人口の増加を期待し、各市町村が掲げる人口ビジョンの達成をめざします。

圏域の人口推移と将来における人口ビジョン数値の推移

(人)

	実績値				人口の将来展望数値		
	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22
美濃加茂市	54,729	55,384	56,689	56,861	58,509	59,116	58,937
坂祝町	8,361	8,202	8,071	8,123	8,256	8,173	8,006
富加町	5,516	5,564	5,626	5,767	5,444	5,332	5,199
川辺町	10,593	10,197	9,860	9,439	9,638	9,457	9,068
七宗町	4,484	3,876	3,402	2,895	2,874	2,655	2,449
八百津町	12,045	11,027	10,195	9,318	8,793	8,070	7,368
白川町	9,530	8,392	7,412	6,380	6,086	5,467	4,868
東白川村	2,514	2,261	2,016	1,819	2,004	1,938	1,887
圏域	107,772	104,903	103,271	100,602	101,604	100,208	97,782



出典：2010年、2015年、2020年実績値「令和2年度国勢調査」

出典：2025年実績値「岐阜県人口動態統計調査数値（令和7年4月1日現在）」

2030年～2040年人口の将来展望数値「各市町村人口ビジョン」

■事業推進に係る3つの視点

「住み続けたい、住んでみたいまち」

そんな圏域を実現するためには、美濃加茂市と加茂郡の町村に暮らす人々、そして関わりのある人々が、まちに愛着をもち、誇りを感じられることが大切です。

ここには、自分の思いや夢を形にできる場所があると思うことができるまちを、圏域全体で力をあわせてつくっていきたくと考えています。

そして、この地域が誇る豊かな自然、長い時間をかけて育まれてきた歴史や文化、かけがえのない地域資源を未来へつないでいくことができるよう、「未来を担う人材の育成」「デジタル技術の活用」「資源の共同活用」の3つの視点をもって事業を推進していきます。

未来を担う人材の育成

若年層の人口流出が進む中、地域を守り育てていくためには、地域の未来を担う人材の育成が必要です。

住民一人ひとりが、地域で抱える課題を自分自身の課題として捉え、地域全体で課題に取り組む意識を高めていくことが重要です。

圏域に住む住民が、地域に愛着と誇りをもち、地域と関わり続けたいと思えるような環境を整えることで、地域全体の活性化を図り、若者をはじめとした住民が将来にわたって住み続けたい、住んでみたいと思うまち、住民の思いを実現できるまちをめざします。

デジタル技術の活用

生産年齢人口の減少が見込まれる中、人材確保が困難になり職員数の減少が想定されるなど、行政運営上の課題が深刻化しています。また、変化する社会情勢や多様化する住民ニーズに対応していくことも求められています。

このような現状をふまえ、将来にわたって持続可能な住民サービスを提供するために「デジタル技術の活用」を事業に手段として取り入れることが重要です。

デジタル技術を活用することで、限られた人員の中でも住民サービスを維持、向上させることをめざします。これにより、地域住民の満足度を向上させ、「住み続けたい、住んでみたいまち」の実現をめざします。

資源の共同活用

人口減少や少子高齢化が進行する中、自治体がもつ人材や財源、施設、設備などといった資源には限りがあります。また、職員数の減少が予測される中、従来の方で公共サービスを維持することが困難になるなど、多くの課題が顕在化しています。

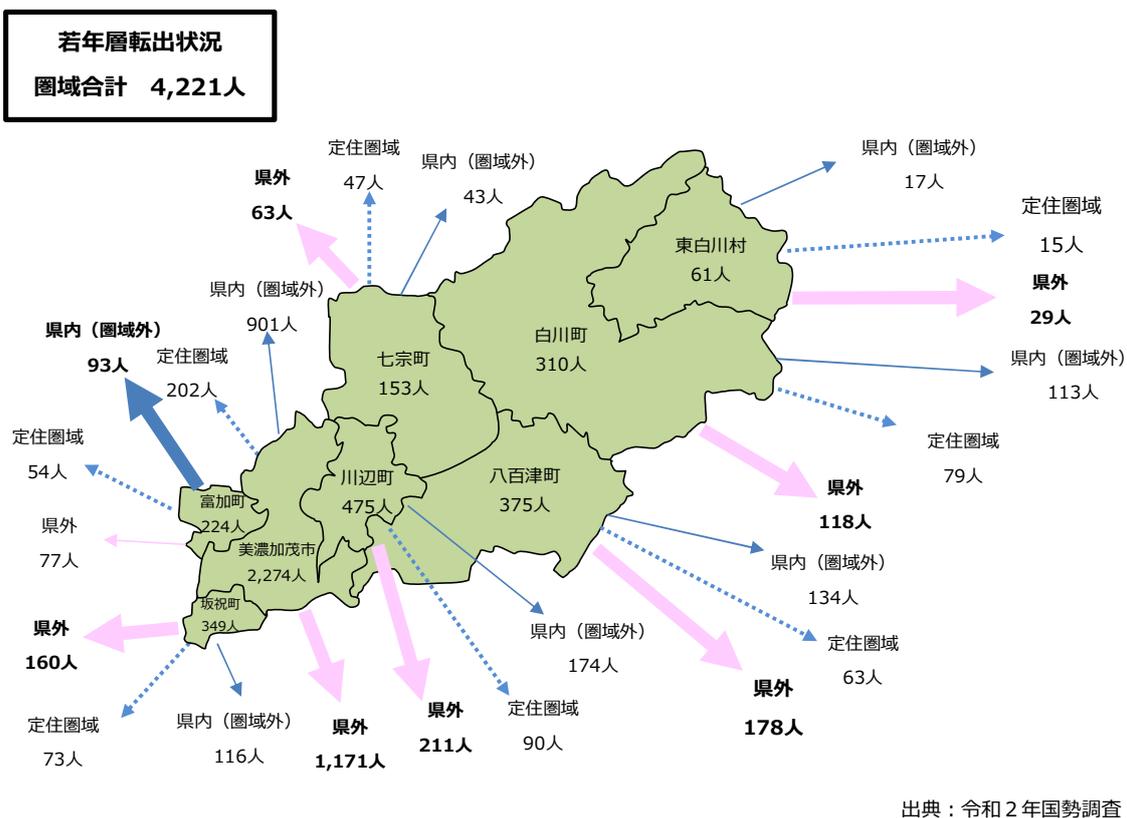
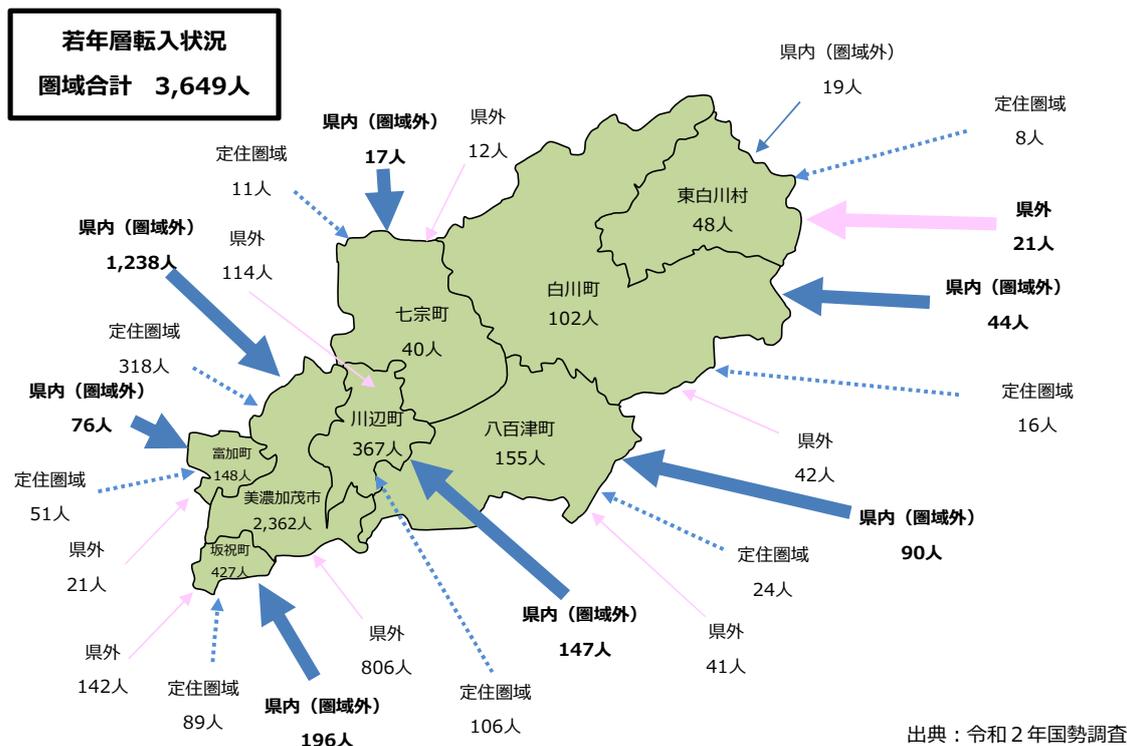
このような状況に対応するためには、圏域市町村が連携し、資源を共同で活用する視点が重要です。資源を最大限効果的に活用することで、効率的な行政サービスの提供をめざします。

■圏域の課題とその関連データ

未来を担う人材の育成

若年層（20歳～34歳）の転入転出状況を見ると、圏域全体で転出超過となっており、若者が圏域外へ転出していることがわかります。特に20歳～24歳の層で大幅な転出超過が見られ、地域の未来の担い手となり得る若者が圏域外へ転出していることが圏域共通の課題となっています。

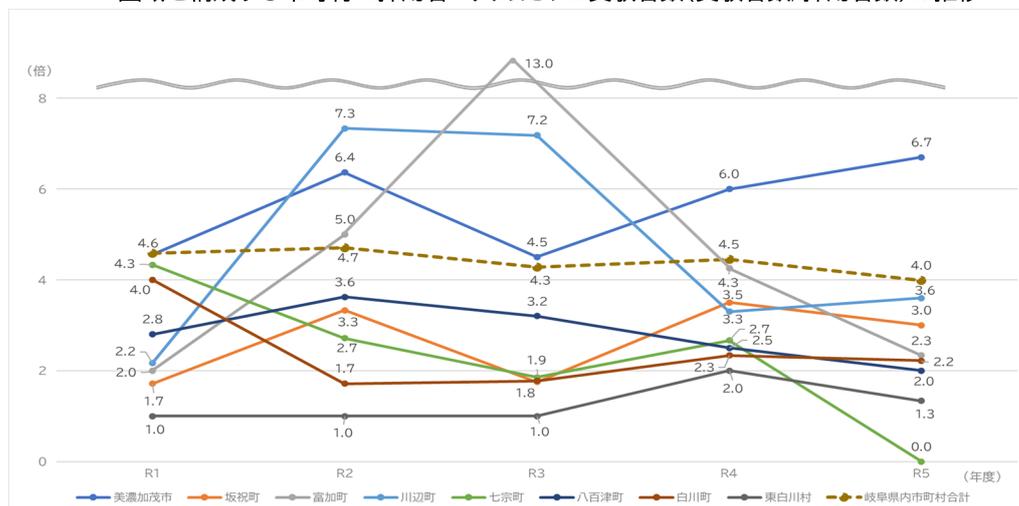
若年層転入転出状況



デジタル技術の活用

採用者一人あたりの受験者数（受験者数/採用者数）をみると、圏域市町村ごとの推移は年度によって変動がみられるものの、岐阜県内の市町村全体では概ね減少傾向が続いています。また、今後、生産年齢人口の減少が進行する中で、自治体が必要とする人材の確保が今後、さらに困難になることが予測されます。

圏域を構成する市町村の採用者一人あたりの受験者数(受験者数/採用者数)の推移



出典：令和5年度地方公共団体の勤務条件等に関する調査

※美濃加茂市は令和5年度に採用試験方式を変更

※令和5年度七宗町は受験者数0

資源の共同活用

圏域の主な公共施設をみると、それぞれの施設は住民に必要なサービスを提供していますが、今後、老朽化が重なることで、大規模改修や建て替えを同時期に進める必要が生じることが予測されます。そのため、単独の市町村では維持管理や更新が困難になる可能性があります。

圏域内の主な公共施設数

施設分類	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村
庁舎等	11	1	1	2	2	1	5	1
その他行政施設(消防施設を除く)	-	-	-	-	-	1	-	-
集会施設	11	1	3	2	3	9	7	20
文化施設	1	-	1	1	-	-	-	-
幼稚園・保育園・こども園	9	2	1	5	2	4	5	1
幼児・児童施設	2	1	2	-	1	1	-	-
スポーツ施設	9	3	1	1	1	7	15	9
レクリエーション施設・観光施設	5	1	1	-	-	2	3	9
学校	11	2	1	4	4	7	8	13
その他教育施設	1	1	-	1	3	1	8	13
高齢福祉施設	3	-	2	-	1	3	8	13
障がい福祉施設	1	-	-	-	-	-	1	9
児童福祉施設	1	-	-	-	-	-	-	9
保健施設	1	1	1	-	1	1	1	9
その他社会福祉施設	1	1	-	-	-	1	-	9
博物館等	2	-	1	-	1	1	-	-
図書館	2	-	-	-	-	-	1	-

出典：各市町村公共施設等総合管理計画

空欄

第4章

将来像実現に向けた 具体的な取組

■将来像実現に向けた具体的な取組の総括表

3つの視点			事業名	事業概要
未来を担う人材の育成	デジタル技術の活用	資源の共同活用		
	○		1 圏域まるごとスマホ市役所	圏域でデジタルに対する理解及び活用度を向上させるため、LINE公式アカウントを活用したスマホ市役所に関する知見を圏域全体で共有する。
	○		2 共通地域ポイント及び代替的な経済交換システム研究事業	広義の地域通貨である地域ポイント等について調査研究することで広域導入の可能性を検討する。
		○	3 学校腎臓検診事業	疾病の早期発見のため、圏域内の児童生徒が同水準の検査を受診することができる環境を構築する。
		○	4 皆歯科健診事業	圏域内の歯科医療機関で健診実施体制を整備し、受診しやすい健診体制とすることで将来的な定期受診へつなげる。
			5 看護師修学資金貸与事業	圏域の医療体制維持のため、加茂地域内での就職を目指す看護師志望の学生への支援として、修学資金の貸付を行う。
	○	○	6 介護認定審査会・障がい者自立支援認定審査会事業	圏域の医療・保健・福祉の専門家からなる認定審査会での審査判定を行う。
○		○	7 里山まちづくり事業	里山の暮らしや文化を聞き書きや体験型コンテンツ、WEBでの情報発信等を通じて伝え、人材の発掘や育成を行う。
		○	8 圏域公共交通網整備事業	各市町村で運行しているコミュニティバスなどの公共交通の維持・確保と圏域内公共交通の連携を図る。
○	○	○	9 地域防災力強化事業	圏域の防災力向上のため、圏域住民の防災意識の向上、災害に対応できる職員の技術向上の体制を整備する。
	○	○	10 情報の多言語化、発信の支援事業	生活に必要な行政情報の翻訳、窓口での通訳体制を整えると共に、地域でのコミュニケーションを円滑にするために基礎的な日本語習得の機会を提供する。
		○	11 のぞみ教室推進事業	圏域外国人を対象とした生活支援・日本語学習支援や、外国人児童生徒に対する就学支援を行う。
			12 里山再生プロジェクト事業	侵入竹林を伐採、広葉樹を植樹するなど、里山林を整備し、人と自然の共存を学ぶ交流となる場を整備する。
		○	13 Kisoジオパークにぎわい創出事業	雄大な木曾川と歴史ある中山道をフィールドとしてにぎわいのあるまちづくりを行う。
		○	14 生物多様性地域連携促進事業	圏域の自然環境を保全するため、環境フェアの共同開催や圏域内の自然環境調査を行う。
		○	15 コミュニティFM放送事業	災害時に情報を入手できる手段の一つとして、コミュニティFMを日常的に利用できる環境の整備、自治体情報番組の企画運営を行う。
		○	16 映像制作配信事業	定住自立圏の住民等へ圏域の魅力を伝えるため、映像を使用した地域の情報を制作し、SNSと連携して発信する。
		○	17 休日急患診療事業	加茂医師会、加茂歯科医師会と連携し、休日の急患患者の診療体制を強化する。
		○	18 ファミリー・サポート・センター事業	住民のニーズやライフスタイルに応じた子育て支援（ファミリー・サポート・センター）を広域的に推進する。
		○	19 幼児療育支援事業	心身に障がいのある子どもの療育教育を連携して進める。
	○	○	20 図書館システム広域利用事業	図書館のシステムの一元化、共同購入等により利便性の向上等につなげる。
		○	21 生涯学習機会促進共同事業	生涯にわたる学習機会の提供や学習活動の情報提供を通じた地域における学習環境の整備を促進する。
		○	22 消費生活センター運営事業	圏域で消費生活相談室を共同設置し、消費者の立場に立った相談業務が行える場を提供する。

※事業1～6が新規事業、事業7～22が第3次共生ビジョンからの継続事業です。

※概算事業費は現時点での見込み額を記載しております。

概算事業費（千円）						連携市町村								ページ	事業番号
R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	計	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
4,453	5,853	8,177	8,177	8,177	34,837	美濃加茂市		富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町		30	1
0	0	0	0	0	0	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	30	2
1,905	1,905	1,905	1,905	1,905	9,525	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	31	3
32,980	38,034	41,115	43,755	47,276	203,160	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	31	4
10,868	21,736	32,604	37,868	37,868	140,944	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	32	5
46,504	46,504	46,504	46,504	46,504	232,520	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	32	6
4,650	5,500	5,700	6,000	6,200	28,050	美濃加茂市			川辺町			白川町	東白川村	33	7
12,441	7,041	7,041	7,041	7,041	40,605	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	33	8
3,519	3,519	3,519	3,519	3,519	17,595	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	34	9
4,086	4,086	4,086	4,086	4,086	20,430	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町					34	10
30,974	30,974	30,974	30,974	30,974	154,870	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				35	11
25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	125,000	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				35	12
17,460	9,080	9,080	9,080	9,080	53,780	美濃加茂市	坂祝町							36	13
4,649	4,844	5,144	6,444	4,344	25,425	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	36	14
6,128	6,528	6,032	6,432	6,832	31,952	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	37	15
37,895	37,895	39,895	39,895	39,895	195,475	美濃加茂市			川辺町		八百津町	白川町		37	16
7,523	7,523	7,523	7,523	7,523	37,615	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	38	17
10,837	10,900	11,000	11,100	11,200	55,037	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				38	18
846	846	846	846	846	4,230	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	39	19
5,114	5,114	5,114	17,869	5,114	38,325	美濃加茂市	坂祝町							39	20
2,423	2,514	2,605	2,696	2,787	13,025	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	40	21
9,379	9,310	9,379	9,310	9,379	46,757	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町					40	22
279,634	284,706	303,243	326,024	315,550	1,509,157										

■ 具体的な取組内容

No.	1	事業名	圏域まるごとスマホ市役所						
3つの視点		○ (デジタル)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ウ) 資源制約に対応するための圏域マネジメント等 (c) 圏域内市町村の職員等の交流 (c) 圏域内市町村の職員等の交流				
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
定例会を開催し圏域におけるデジタルへの理解を深め、LINE公式アカウントを活用したスマホ市役所の促進を図ることで圏域全体のデジタル化を推進する。				共通のデジタル施策を進めることで、圏域全体のデジタル・DX施策の底上げが見込める。さらに住民に対しても、共通のデジタルサービスを届けることで、圏域全体で共通のサービスが利用可能になる。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
LINE公式アカウントを活用したスマホ市役所の圏域展開				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
共通するツールを用いた施策の定例会開催				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	事業企画運営、事務局			七宗町	事業企画運営			
	坂祝町				八百津町	事業企画運営			
	富加町	事業企画運営			白川町	事業企画運営			
	川辺町	事業企画運営			東白川村				
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				34,837	4,453	5,853	8,177	8,177	8,177
重要業績評価指標(KPI)				指標	スマホ市役所導入自治体				
				目標値(市町村)	2	3	6	6	6
				実績値(市町村)					

No.	2	事業名	共通地域ポイント及び代替的な経済交換システム研究事業						
3つの視点		○ (デジタル)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ウ) 資源制約に対応するための圏域マネジメント等 (c) 圏域内市町村の職員等の交流 (c) 圏域内市町村の職員等の交流				
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
広義の地域通貨である地域ポイント等について調査研究することで広域導入の可能性を検討する。				共通地域ポイント及び代替的な経済交換システムへの知見を深化することができる。また、将来的に地域ポイントの経済の地域内循環への利用やデジタル商品券へ発展する可能性がある。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
調査研究				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
連携会議の開催				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	全体の取りまとめ・調査研究			七宗町	調査研究			
	坂祝町	調査研究			八百津町	調査研究			
	富加町	調査研究			白川町	調査研究			
	川辺町	調査研究			東白川村	調査研究			
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標(KPI)				指標	共通地域ポイント及び代替的な経済交換システムにかかる会議開催				
				目標値(回)	1	1	1	1	1
				実績値(回)					

No.	3		事業名						
3つの視点			○ (資源)	協定項目		政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化		
						連携分野(総)	(a) 医療		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要					期待される効果				
児童生徒の健康管理、疾病の早期発見のため、学校検尿に医師の判断を加え、圏域内の全ての児童生徒が同水準の検査を受診することができる環境を構築する。					疾病を早期に発見することで、治療を行うことや体に負担の少ない生活を送ることができる。				
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
検査機関との契約				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
学校検尿判定委員会の開催(夏と秋の年2回開催)				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	学校検尿を総括して実施。学校検尿判定委員会の開催			七宗町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			
	坂祝町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			八百津町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			
	富加町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			白川町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			
	川辺町	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			東白川村	学校との調整。検査結果の報告。委員会の結果の通知			
概算事業費(千円)			合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
			9,525	1,905	1,905	1,905	1,905	1,905	
重要業績評価指標(KPI)			指標	学校検尿判定委員会で要医療と判断された児童・生徒の医療機関受診率					
			目標値(%)	100	100	100	100	100	
			実績値(%)						

No.	4		事業名						
3つの視点			○ (資源)	協定項目		政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化		
						連携分野(総)	(a) 医療		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要					期待される効果				
圏域内の歯科医療機関で健診実施体制を整備し、受診しやすい健診体制を整備する。将来的な定期健診につなげるため、口腔保健と全身疾患についての知識と定期健診の必要性について普及する。					歯科健診を実施し、歯と口腔への意識を高め、適切なケア・治療、定期的に歯科健診を受診する人を増やすことができる。また、受診勧奨及び啓発活動を行うことで、歯科健診受診率と口腔保健への意識を向上させる。特に、これまでに歯科健診を受けていない人や不定期受診者の歯科保健への関心を高めて健診につなげることができる。				
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
健診実施体制の整備				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
啓発物の作成・配布講演会の実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			七宗町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			
	坂祝町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			八百津町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			
	富加町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			白川町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			
	川辺町	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			東白川村	健診実施体制の整備、啓発物の作成と配布			
概算事業費(千円)			合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
			203,160	32,980	38,034	41,115	43,755	47,276	
重要業績評価指標(KPI)			指標	受診者のうち、過去1年間歯科健診未受診者の割合					
			目標値(%)	20	20	20	20	20	
			実績値(%)						

No.	5		事業名						看護師修学資金貸与事業				
3つの視点						協定項目		政策分野(総)		(ア) 生活機能の強化			
								連携分野(総)		(a) 医療			
								連携分野(み)		(a) 医療			
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村					
事業概要					期待される効果								
将来、圏域での就職をめざす看護専門学生、看護大生に修学資金の貸付を行う。貸付期間と同期間、定住自立圏域内の医療機関等で看護師として従事した者については貸付金の返還を免除する。					圏域での就職を目指す看護師志望の学生への支援を行い、看護師として定住自立圏域内の医療機関へ就職することを促進することで、医療体制の維持を図る。								
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
看護専門学生、看護大生に修学資金を貸付					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
支払った後の就業調査、返還請求					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
役割分担	美濃加茂市	募集、選考、支払い、在勤・在学調査、返還請求			七宗町	周知、選考							
	坂祝町	周知、選考			八百津町	周知、選考							
	富加町	周知、選考			白川町	周知、選考							
	川辺町	周知、選考			東白川村	周知、選考							
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
				140,944	10,868	21,736	32,604	37,868	37,868				
重要業績評価指標(KPI)				指標	延べ貸付人数								
				目標値(%)	30	60	90	120	150				
				実績値(%)									

No.	6		事業名						介護認定審査会・障がい者自立支援認定審査会事業				
3つの視点			○ (デジタル)		○ (資源)		協定項目		政策分野(総)		(ア) 生活機能の強化		
									連携分野(総)		(b) 福祉		
									連携分野(み)		(b) 福祉		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村					
事業概要					期待される効果								
圏域の医療・保健・福祉の専門家からなる認定審査会で審査判定を行う。公正な立場で審査判定を行うとともに、広域で審査会業務を行う。					介護保険法に規定する要介護認定審査及び障害者総合支援法に規定する障害支援区分の審査判定の公平性及び効率性を確保することができる。								
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
圏域での委員の選出・審査判定により効率化					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
認定審査会のオンライン化 (Web)					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
認定審査会のペーパーレス化 (検討・準備を含む)					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
役割分担	美濃加茂市	全体取りまとめ・運営主体			七宗町	審査会資料作成・運営							
	坂祝町	審査会資料作成・運営			八百津町	審査会資料作成・運営							
	富加町	審査会資料作成・運営			白川町	審査会資料作成・運営							
	川辺町	審査会資料作成・運営			東白川村	審査会資料作成・運営							
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
				232,520	46,504	46,504	46,504	46,504	46,504	46,504			
重要業績評価指標(KPI)				指標	審査会開催回数 (介護認定審査会+障がい者自立支援認定審査会)								
				目標値(%)	220	220	220	220	220				
				実績値(%)									

No.	7	事業名								
3つの視点		○ (未来)		○ (資源)		協定項目		政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(イ) 結びつきやネットワークの強化 (e) 地域内外の住民との交流・移住促進 (e) 地域内外の住民との交流・移住促進	
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
地域ごとの暮らしや文化を知り、伝えていくために、聞き書きを実施し、情報としてストックする。同時に、里山の暮らしや文化に触れるメニューを掘起し、或いは作成し情報をWEBにて発信していく。また、そのメニューを実施することができる人材の発掘や育成、またこの事業を運営する民間事業者等の育成を行っていく。					里山の歴史や暮らしを体験する機会を提供し、愛着や帰属意識を高めることで、若者が地域に戻り支える関係を築くことにつながる。また、世代を超えた交流を促進して地域コミュニティを強化し、つながりの希薄化や担い手不足といった課題解決につながる。圏域外の人々に里山の魅力を発信し、関係人口や交流人口を増やすことで移住を促進し、地域社会の持続可能な活性化を図ることができる。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
高校生聞き書き					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
WEB事業（さとやまシュレホームページ）					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
里山体験事業					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	全体のとりまとめ、会議運営、事業企画・運営			七宗町					
	坂祝町				八百津町					
	富加町				白川町	事業実施、情報発信				
	川辺町	事業実施、情報発信			東白川村	事業実施、情報発信				
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					28,050	4,650	5,500	5,700	6,000	6,200
重要業績評価指標(KPI)					指標	地域と関わりを持ち続けたいと感じる人の割合				
					目標値(%)	80	80	80	80	80
					実績値(%)					

No.	8	事業名								
3つの視点		○ (資源)		協定項目		政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(イ) 結びつきやネットワークの強化 (a) 地域公共交通 (a) 地域公共交通			
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
みのかも定住自立圏公共交通基本構想を基に、各市町村で運行しているコミュニティバスなどの公共交通の維持・確保と圏域内公共交通の連携を図る。また、通学の負担になっている、交通費について補助制度の検討及び制度の策定をする。同時に、圏域民及び観光客が圏域の観光施設へ行きたくなるようなモデルコースの作成及びおでかけツアーの計画を実施する。					それぞれの市町村が連携を取りながら整備することで、圏域内の移動の利便性を確保し、圏域全体の暮らしやすさが向上する。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
ダイヤの見直し及び連携強化					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
高校へのアクセス強化及び運賃補助制度の策定					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
観光施設への公共交通アクセス強化・モデルコース作成					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	事務局、総括			七宗町	事業実施				
	坂祝町	事業実施			八百津町	事業実施				
	富加町	事業実施			白川町	事業実施				
	川辺町	事業実施			東白川村	事業実施				
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					40,605	12,441	7,041	7,041	7,041	7,041
重要業績評価指標(KPI)					指標	連携市町村年間バス利用者数				
					目標値(人)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
					実績値(人)					

No.	9		事業名						
3つの視点	○ (未来)	○ (デジタル)	○ (資源)	協定項目	政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化			
	連携分野(総)	(g) 防災							
連携分野(み)	(g) 防災								
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
地域の中心的存在となつて防災活動が行える人材を育成するとともに、そういった方々が活躍できる体制と機会を創出するため、防災に関わる行事を実施する。職員の被災時対応力を向上させていくため、実務に近い内容の職員研修共同開催する。同一の防災備蓄品在庫管理システムを利用し、事務・経費の軽減を図る。				圏域で連携して防災について学ぶ場を提供することにより、地域住民の防災意識の向上、人材の育成及び活躍できる体制を構築することができる。職員研修を共同開催することにより、職員のスキルアップの強化につながる。共同で防災備蓄品管理システムを導入することで、在庫管理適正化、および圏域における物資調達や災害時相互応援体制構築につながる。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
防災士養成講座、防災イベントの開催(取組①)				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
防災に関する職員研修の開催(取組②)				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
防災備蓄品管理システムの共同利用(取組③)				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	事業全体の取りまとめ			七宗町	取組①の取りまとめ			
	坂祝町	取組③の取りまとめ			八百津町	取組①の取りまとめ			
	富加町	取組①の取りまとめ			白川町	取組②の取りまとめ			
	川辺町	取組③の取りまとめ			東白川村	取組②の取りまとめ			
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				17,595	3,519	3,519	3,519	3,519	3,519
重要業績評価指標(KPI)				指標	防災士資格取得者等 50人 職員研修参加者数 130人 イベントの参加者数 60人				
				目標値(人)	240	240	240	240	240
				実績値(人)					

No.	10		事業名						
3つの視点	○ (デジタル)	○ (資源)	協定項目	政策分野(総)	(イ) 結びつきやネットワークの強化				
	連携分野(総)	(e) 地域内外の住民との交流・移住促進							
連携分野(み)	(e) 地域内外の住民との交流・移住促進								
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
生活に必要な行政情報の翻訳、窓口でのタブレット端末による通訳体制を整えと共に、地域でのコミュニケーションを円滑にするために基礎的な日本語習得の機会を提供し、日本人住民に対しても「やさしい日本語」の習得を促す。また、災害時における通訳ボランティアスタッフの養成を通じて、災害時の情報伝達を拡充するとともに、地域のリーダー的存在の育成につなげる。さらに、外国人住民のニーズに合った取組内容とするため、外国人住民から直接意見を聞く場を設ける。				外国人住民は、行政又は地域からの情報を正確に受け取ることができ、地域での孤立感を改善することができる。また、日本人住民とコミュニケーションを図ることができ、地域での社会参加がしやすくなることで、地域全体の活性化につながる。外国人住民に必要な情報を提供し、同時に、日本人住民とのコミュニケーションを(日本語で)図ることで、地域での共生(協働)につながる。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
行政情報の多言語化ややさしい日本語での発信				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
日本語学習教室の継続・ボランティアスタッフの養成				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
災害時通訳ボランティアの養成及び体制整備				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	全体の取りまとめ			七宗町				
	坂祝町	外国人住民ニーズの把握			八百津町				
	富加町	外国人住民ニーズの把握			白川町				
	川辺町	外国人住民ニーズの把握			東白川村				
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				20,430	4,086	4,086	4,086	4,086	4,086
重要業績評価指標(KPI)				指標	日本語学習講座受講人数				
				目標値(人)	380	380	380	380	380
				実績値(人)					

No.	11	事業名							
3つの視点		○ (資源)			協定項目	政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化		
連携市町村		美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村
事業概要					期待される効果				
外国籍児童生徒が小中学校生活に適応し、充実した日々が送れるよう、学校生活に必要な日本語や日本の文化、学校生活の基礎について教える。					「のぞみ教室」で日本語や日本文化、学校生活の基礎を身につけることで、日本の学校生活にスムーズに対応でき、長期的に日本の小中学校に在籍することにつながる。				
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
のぞみ教室で日本語指導や生活指導					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
役割分担	美濃加茂市	外国人児童生徒就学支援学級の実施			七宗町	事業参加、協力			
	坂祝町	事業参加、協力			八百津町				
	富加町	事業参加、協力			白川町				
	川辺町	事業参加、協力			東白川村				
概算事業費(千円)		合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度		
		154,870	30,974	30,974	30,974	30,974	30,974	30,974	
重要業績評価指標(KPI)		指標	のぞみ教室に在籍した児童生徒が小学校・中学校に就学後、年度末まで在籍した割合(帰国・転校を除く)						
		目標値(%)	90	90	90	90	90	90	
		実績値(%)							

No.	12	事業名							
3つの視点					協定項目	政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化		
連携市町村		美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村
事業概要					期待される効果				
放置竹林の伐採や破砕などによる里山の整備を進めるとともに、整備後の維持管理を地域住民が担えるよう整備隊の組織化を支援する。薪づくりや活用も含めた仕組みにより、自立的で持続可能な活動体制を構築し、地域の生きがいや交流の場としての活用も図る。					圏域内における里山の荒廃を防ぎ、計画的な整備と活用が継続されることで、有害鳥獣の生息環境を減らし、農作物被害の抑制につながる。また、整備後も地域住民の手によって維持管理が継続される仕組みを構築することで、地域の暮らしに根ざした里山になる。里山の活用を通じて、地域の多様な世代が関わり合い、「愛着」や「生きがい」が生まれることで、活動が持続可能なものになる。				
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
農作物被害の抑制に向けた整備の継続					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
再荒廃を防ぐ維持管理体制の構築					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
地域住民の参画と担い手育成の推進					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
役割分担	美濃加茂市	事業全体の進捗管理、広報活動、企業連携			七宗町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動			
	坂祝町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動			八百津町				
	富加町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動			白川町				
	川辺町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動			東白川村				
概算事業費(千円)		合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度		
		125,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	
重要業績評価指標(KPI)		指標	圏域有害鳥獣被害額						
		目標値(千円)	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000	20,000	
		実績値(千円)							

No.	13	事業名								
3つの視点		○ (資源)			協定項目		政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (e) 産業振興 (e) 産業振興		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
河畔空間の魅力向上のための整備や、川のある暮らしを体験できるプログラムを企画・実施していく。					川の持つ楽しさや魅力を伝えつつ、川が持つ危険性や万が一危険な状況が起こった場合の対処法を地域の方に分かりやすく伝えることで、事故の啓発を行うとともに、川のある暮らしを未来に継承していく人と人の繋がりが生まれる。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
環境整備					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
自然体験プログラムの開催					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	環境整備、自然体験プログラムの企画			七宗町					
	坂祝町	事業の協力、環境整備、自然体験プログラムの企画			八百津町					
	富加町				白川町					
	川辺町				東白川村					
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					53,780	17,460	9,080	9,080	9,080	9,080
重要業績評価指標(KPI)					指標	堤防道路の利用人数				
					目標値(人)	272,000	273,000	274,000	275,000	276,000
					実績値(人)					

No.	14	事業名								
3つの視点		○ (資源)			協定項目		政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (f) 環境 (f) 環境		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
「生物多様性加茂プラン」に基づき、環境フェアや学習会などを開催し、生物多様性について圏域内外に情報を浸透させる機会を設ける。生物多様性を保全するため、現在の加茂地域の自然環境の現状を調査し、評価する。					圏域の人々が生物多様性への理解を深め、生物多様性や環境保全の重要性について幅広く周知され、豊かな自然を守る活動につながるきっかけを作る。また、圏域外からは、圏域の豊かな自然に魅力を感じ、圏域に訪れる人が増加する。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
環境フェアの開催、学習会の実施					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
生物多様性に関する子ども版パンフ・概要版改訂・配布					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
自然環境基礎調査の継続及びデータ更改					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	事業企画運営、事務局			七宗町	事業企画運営				
	坂祝町	事業企画運営			八百津町	事業企画運営				
	富加町	事業企画運営			白川町	事業企画運営				
	川辺町	事業企画運営			東白川村	事業企画運営				
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					25,425	4,649	4,844	5,144	6,444	4,344
重要業績評価指標(KPI)					指標	圏域住民の関心度 ※環境フェア及び学習会の圏域住民の参加者数				
					目標値(人)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
					実績値(人)					

No.	15	事業名	コミュニティFM放送事業					
3つの視点			○ (資源)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (g) 防災 (g) 防災		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村
事業概要				期待される効果				
圏域を放送エリアとしており、災害時に情報を入手する手段の一つとして、地域情報発信媒体であるコミュニティFMを日常的に利用できる環境を整備する。圏域内の情報格差を無くすため、コミュニティFM局で圏域内の情報に特化した番組制作を行い、圏域内の情報を積極的に発信する。				災害時に圏域内の被害状況や避難情報などの情報共有を図ることができるようになる。また、地域に密着するコミュニティFMの特性を活用し、地域の魅力発信につながる情報を市町村側から発信することで、日常的に使われる圏域内情報の収集方法の一つとして選択されるようになる。				
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
各自治体の情報を発信するラジオ番組の企画・制作・発信				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
定住自立圏の番組（共同番組）のラジオ番組の企画・制作・発信				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
防災情報をプッシュ通知で受け取れる自治体の増加				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
役割分担	美濃加茂市	事業企画運営、事務局			七宗町	事業企画運営		
	坂祝町	事業企画運営			八百津町	事業企画運営		
	富加町	事業企画運営			白川町	事業企画運営		
	川辺町	事業企画運営			東白川村	事業企画運営		
概算事業費(千円)			合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
			31,952	6,128	6,528	6,032	6,432	6,832
重要業績評価指標(KPI)			指標	コミュニティFMを利用する人の割合				
			目標値(%)	20	20	20	20	20
			実績値(%)					

No.	16	事業名	映像制作配信事業					
3つの視点			○ (資源)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(イ) 結びつきやネットワークの強化 (b) デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備 (b) デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村
事業概要				期待される効果				
映像を使った地域の情報を制作することあわせ、各市町村が運用するSNSと連携して発信することで、あらゆる方面から定住自立圏の住民等へ圏域の魅力が伝えられるようにする。				地域の魅力や行政から住民などへ伝えるべき情報を圏域で協力して発信することで、圏域住民等が定住自立圏内の情報を日常的に受け取ることができる。				
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
各自治体行政情報番組の制作・配信				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
制作した映像を各自治体が運用する各種SNSで配信				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
定住自立圏域のPRにつながる番組、動画制作				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
役割分担	美濃加茂市	事業企画運営、事務局			七宗町	事業企画運営		
	坂祝町	事業企画運営			八百津町	事業企画運営		
	富加町	事業企画運営			白川町	事業企画運営		
	川辺町	事業企画運営			東白川村	事業企画運営		
概算事業費(千円)			合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
			195,475	37,895	37,895	39,895	39,895	39,895
重要業績評価指標(KPI)			指標	行政情報をSNS（LINE,X,Instagram,YouTube）で入手する人の割合の平均(%)				
			目標値(%)	5	7	10	15	17
			実績値(%)					

No.	17	事業名							休日急患診療事業				
3つの視点				○ (資源)	協定項目		政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化					
							連携分野(総)	(a) 医療					
							連携分野(み)	(a) 医療					
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村					
事業概要					期待される効果								
加茂医師会、加茂歯科医師会との連携のもと、日曜・祝日及び年末年始に当番医による休日診療を行う。					休日の急な病気に対応してくれるクリニックがあることで、住民が安心して過ごせる環境が整う。休日診療の周知をすることで正しい医療機関へのかかり方を啓発することで、医療人材の負担が軽減される。								
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
歯科及び内科当番医による休日診療					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
住民に向けて周知					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
役割分担	美濃加茂市	加茂医師会、加茂歯科医師会との調整、住民への周知			七宗町	住民への周知							
	坂祝町	住民への周知			八百津町	住民への周知							
	富加町	住民への周知			白川町	住民への周知							
	川辺町	住民への周知			東白川村	住民への周知							
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
				37,615	7,523	7,523	7,523	7,523	7,523	7,523			
重要業績評価指標(KPI)				指標	太田病院、中部国際医療センターの救急利用者数 (救急車+ウォークイン)								
				目標値(人)	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000			
				実績値(人)									

No.	18	事業名							ファミリー・サポート・センター事業				
3つの視点				○ (資源)	協定項目		政策分野(総)	(ア) 生活機能の強化					
							連携分野(総)	(b) 福祉					
							連携分野(み)	(b) 福祉					
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村					
事業概要					期待される効果								
一時預かり事業や保育施設等では対応できないケースについて、子育てを手伝ってほしい人と、子育ての手伝いをしたい人たちのマッチングによる支援体制を組むことで、子育てしやすいまちづくりを進める。会員や子育てに関心のある人を対象に子育て支援研修を実施することで、提携市町全体の支援の質の向上を図り、子育ての共助体制を作る。					各家庭の事情に合わせた柔軟な育児支援をすることで、安心して働くことができる環境を整え、子育て中の保護者の負担を軽減することができる。								
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
事務局による利用会員とサポート会員のマッチング					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
会員募集・研修・支援マッチング等の業務					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
周知					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
役割分担	美濃加茂市	事業実施、広報			七宗町	事業参加、協力、広報							
	坂祝町	事業参加、協力、広報			八百津町								
	富加町	事業参加、協力、広報			白川町								
	川辺町	事業参加、協力、広報			東白川村								
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度				
				55,037	10,837	10,900	11,000	11,100	11,200				
重要業績評価指標(KPI)				指標	ファミサポ利用件数								
				目標値(件)	1,350	1,370	1,390	1,410	1,430				
				実績値(件)									

No.	19	事業名								
3つの視点		○ (資源)			協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (b) 福祉 (b) 福祉			
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
定住自立圏圏域にある発達支援センター及び各教室全体の療育の質を高めるため、圏域の療育者及び関係者が合同で研修を行う。					療育施設職員の技能や知識を向上させることで、支援を必要としている乳幼児に対して質の高い療育を提供し、その子どもが持つ可能性や能力を最大限に引き出すことができる。支援を必要とする児に関わる関係機関の職員が、発達障がいなどへの理解を深め、適切な支援を行うことで、一人ひとりの学びや社会適応を促すことができる。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
人材育成のための研修会の開催					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
専門職の共同派遣依頼					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
療育関係職員の合同研修会の開催					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	各町村連絡調整事務、企画運営			七宗町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施				
	坂祝町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施			八百津町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施				
	富加町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施			白川町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施				
	川辺町	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施			東白川村	合同研修参加・人材育成研修実施・専門職支援実施				
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					4,230	846	846	846	846	846
重要業績評価指標(KPI)					指標	各市町村保護者アンケート結果 療育内容満足度85%以上				
					目標値(%)	85	85	85	85	85
					実績値(%)					

No.	20	事業名								
3つの視点		○ (デジタル)		○ (資源)		協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (c) 教育 (c) 教育		
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		
事業概要					期待される効果					
利用者がより身近に図書館を利用できる環境を整備するために、美濃加茂市立図書館・坂祝町中央公民館図書室が、図書資料及び図書館機器等、図書館運営の全般を共同運用する。					図書館資料を共同運用することで、より幅広いジャンルの選書を行い、図書館利用者の多様化する読書欲求に応えることができる。また、迅速で利便性のあるサービスを提供でき、図書館をより身近に感じてもらうことにつながる。子どもの頃から読書に親しむことができるよう、またあらゆる人が読書の楽しみを味わえるよう、より多くの機会を提供することにつながる。					
実施スケジュール					R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
幅広いジャンルで選書を行い、蔵書を充実させる					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
イベントを開催し、相互利用についてPRする					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
定期的なシステム機器の更新					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	システムの運営・管理、イベントの開催			七宗町					
	坂祝町	事業参加、協力			八百津町					
	富加町				白川町					
	川辺町				東白川村					
概算事業費(千円)					合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
					38,325	5,114	5,114	5,114	17,869	5,114
重要業績評価指標(KPI)					指標	貸出冊数(冊) ※美濃加茂市で坂祝町民が借りた冊数+坂祝町で美濃加茂市民が借りた冊数(個人利用)				
					目標値(冊)	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100
					実績値(冊)					

No.	21	事業名	生涯学習機会促進共同事業						
3つの視点			○ (資源)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (c) 教育 (c) 教育			
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
より多くの圏域住民に生涯学習の機会が提供できるよう住民企画講座開講を計画する。開講した講座の受講者数と受講者アンケートにより満足度を検証し、圏域住民のニーズや現代の課題に合った講座の開講につなげる。				住民のニーズに対応した住民企画講座の開講数を上昇させることで、多様な学習機会を圏域住民に提供することができる。生涯学習活動の促進により、魅力的な人づくり地域づくりにつながる。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
講座の開講				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
アンケート調査を実施				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	全体の取りまとめ			七宗町	講座の募集、講座の取りまとめ			
	坂祝町	講座の募集、講座の取りまとめ			八百津町	講座の募集、講座の取りまとめ			
	富加町	講座の募集、講座の取りまとめ			白川町	講座の募集、講座の取りまとめ			
	川辺町	講座の募集、講座の取りまとめ			東白川村	講座の募集、講座の取りまとめ			
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				13,025	2,423	2,514	2,605	2,696	2,787
重要業績評価指標(KPI)				指標	講座の開講数				
				目標値(回)	260	270	280	290	300
				実績値(回)					

No.	22	事業名	消費生活センター運営事業						
3つの視点			○ (資源)	協定項目	政策分野(総) 連携分野(総) 連携分野(み)	(ア) 生活機能の強化 (h) その他 (h) 消費生活			
連携市町村	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	
事業概要				期待される効果					
消費生活センターを常設し、専門的知識を有する消費生活相談員を複数名配置する。また、資質向上のための研修を継続的に受講するなど、多種多様な相談に対する迅速かつ的確な対応を継続して実施し、消費者被害の未然防止のための情報提供及び啓発活動を実施する(相談先の周知を含む。)				トラブル予防の啓発や情報提供によって、圏域住民がトラブル自体に巻き込まれないようにすることにつながる。自身で対応困難なトラブルが発生した際には消費生活センターが相談窓口となることを住民が把握し、相談することで、トラブルを解決することができる。					
実施スケジュール				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
消費生活センターを常設し、連携自治体住民からの相談に応				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
消費者被害の未然防止及び事故防止のための情報提供や啓発				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
消費生活相談員の資質向上のための研修を受講する				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
役割分担	美濃加茂市	消費生活センター設置、運営			七宗町				
	坂祝町	事業参加、情報共有、啓発活動協力			八百津町				
	富加町	事業参加、情報共有、啓発活動協力			白川町				
	川辺町	事業参加、情報共有、啓発活動協力			東白川村				
概算事業費(千円)				合計	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
				46,757	9,379	9,310	9,379	9,310	9,379
重要業績評価指標(KPI)				指標	消費者被害救済件数割合				
				目標値(%)	95	95	95	95	95
				実績値(%)					

第5章

みのかも定住自立圏の経過

1 総務省定住自立圏構想

今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。今後は、三大都市圏でも人口減少が見込まれますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

2 中心市宣言

一定の要件を満たす「中心市」が「中心市宣言」により圏域の中心的な役割を担う意思を表明します。美濃加茂市は、平成21年3月24日に行いました。

3 定住自立圏形成協定

住民生活等において密接な関係となる周辺の町村との間で、議会の議決を経た後に、1対1で「定住自立圏形成協定」を締結しました。協定の締結の経緯は次のとおりです。なお、ビジョンの変更にあわせ、必要に応じて協定内容も変更しております。

平成21年10月26日 美濃加茂市と坂祝町と締結
 平成22年 9月30日 美濃加茂市と川辺町と締結
 平成23年 3月28日 美濃加茂市と富加町及び七宗町と締結
 平成23年 9月29日 美濃加茂市と白川町と締結
 平成23年12月22日 美濃加茂市と八百津町及び東白川村と締結

4 みのかも定住自立圏（第1次）共生ビジョン策定

美濃加茂市は、共生ビジョン懇談会での検討を経て、連携町村との協議の上、「（第1次）共生ビジョン」を策定しました。

みのかも定住自立圏（第1次）共生ビジョン策定の経緯は次のとおりです。

平成22年 5月10日 みのかも定住自立圏（第1次）共生ビジョン策定（坂祝町参加）
 平成23年 5月23日 第1回変更（川辺町参加）
 平成23年11月 1日 第2回変更（富加町・七宗町参加）
 平成24年 4月 2日 第3回変更（白川町・八百津町・東白川村参加）
 平成25年 4月24日 第4回変更
 平成26年 4月 1日 第5回変更

5 みのかも定住自立圏第2次共生ビジョン策定

平成27年	4月	1日	みのかも定住自立圏第2次共生ビジョン策定
平成27年10月		1日	第1回変更
平成28年	4月	1日	第2回変更
平成29年	4月	1日	第3回変更
平成30年	4月	1日	第4回変更
平成31年	4月	1日	第5回変更
令和2年	4月	1日	第6回変更
令和3年	4月	1日	第7回変更

6 みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン策定

令和3年	4月	1日	みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン策定
令和4年	7月	1日	第1回変更
令和5年	7月	1日	第2回変更
令和6年	7月	1日	第3回変更
令和7年	4月	1日	第4回変更
令和7年	6月	1日	第5回変更

7 みのかも定住自立圏第4次共生ビジョン策定

令和8年	4月	1日	みのかも定住自立圏第4次共生ビジョン策定
------	----	----	----------------------

みのかも定住自立圏マスコットキャラクター



かも美



かも丸

みのかも定住自立圏第4次共生ビジョン

発行年月 令和8年4月1日
発行 美濃加茂市経営企画部
定住自立圏推進室（企画課）
〒505-8606
美濃加茂市太田町3431番地1
電話 0574-25-2111